



平成27年度地域ブロック合同訓練の実施結果

広域応援室

北海道東北ブロック 推進協議会岩手県実行委員会

平成27年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練は、「統合機動部隊による迅速な災害対応」と、「大規模施設及び居住街区を活用した実践的訓練」をコンセプトに、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱に基づく要請・出動手順を検証し、活動技術の向上、警察・自衛隊・DMAT等関係機関を含めた連携活動能力の向上及び応援体制の向上を図ることを目的とし、岩手県北上市を主会場に実施しました。

1. 実施日

平成27年10月28日（水）～29日（木）

2. 実施場所

北上市、盛岡市、奥州市、花巻市、紫波町、西和賀町

3. 訓練想定

平成27年10月28日（水）9時00分、岩手県内陸部の北上低地西縁断層帯を震源とする地震が発生し、岩手県内陸部（北上市）で最大震度6強を観測した。

この地震により、北上市を中心とする岩手県内陸南部地域では、建物倒壊、火災、土砂災害等による人的・物的ともに甚大な被害が発生した。

北上地区消防組合消防本部は消防相互応援協定に基づき、県内応援隊の出動を要請。また、岩手県知事は、被害が甚大であることから、岩手県内の消防力のみでは対応が困難と判断し、緊急消防援助隊の応援要請を行った。

4. 消防応援活動調整本部等設置運営訓練

地震発生後、速やかに岩手県庁に消防応援活動調整本部（以下「調整本部」という。）を、北上地区消防組合消防本部に指揮本部及び指揮支援本部を設置し、応援要請等に係る情報収集及び情報伝達、緊急消防援助隊の受援及び活動に関する調整等を行う図上訓練を、ロールプレイング方式により実施した。

《今後の課題等》

- 調整本部において、県災害対策本部と連絡調整に当たる職員が不足したため、災害の全体像や被害情報の十分な共有が図れなかった。
- 指揮本部及び指揮支援本部において、連絡調整に当たる職員が他の任務も兼務する状況であったため、災害情報や部隊調整に関する情報の共有が十分に図れなかった。



消防応援活動調整本部設置運営訓練（岩手県庁）

5. 実動訓練

（1）参集訓練及び受援対応訓練

指揮支援部隊長は、ヘリコプターにより調整本部に参集するとともに、岩手県内に3箇所設置した進出拠点において、進出拠点を管轄する消防本部による受援対応訓練を実施した。また、統合機動部隊は迅速な出動及び部隊運用訓練を実施した。



中高層建物救助救出訓練（旧岩手県立北上病院）

《今後の課題等》

- 進出拠点においては、参集する部隊が集中し、誘導等の調整に当たる受援側職員に不足が生じた。今後、岩手県内の消防機関が連携した受入れ体制の検討が必要である。



(2) 部隊運用訓練

各道県大隊は指揮支援部隊長の管理の下、各種訓練を関係機関と連携して実施した。

訓練1日目は、岩手県警航空隊や各消防防災航空隊による偵察・情報収集訓練及び救助訓練のほか、統合機動部隊による都市型災害捜索救助訓練、夜間訓練として中高層建物救助救出訓練及び火災対応訓練を既存の大規模施設を活用して実施した。

訓練2日目は、航空隊やバイク隊による偵察・情報収集訓練をはじめ、居住街区を活用した街区検索救助救出訓練を自主防災組織と連携して実施した。

また、各消防防災航空隊ヘリや陸上自衛隊大型ヘリ(CH-47)による空中消火を含む火災対応訓練等、11項目の訓練を実施した。

両日ともに、訓練項目ごとに現地合同指揮所を設置し、指揮支援隊を中心に、岩手県内応援隊、道県大隊及び関係機関が連携した統括的指揮活動を実施した。

また、海水利用型消防水利システム等、多数の消防庁無償使用車両の災害対応力について検証するとともに、岩手県警ヘリ及び岩手県防災ヘリのヘリテレ、宮城県防災ヘリのヘリサット、無線中継車による映像送受信を実施した。

《今後の課題等》

- 複数の道県隊が同一現場での活動を行う際、それぞれ道県隊ごとに活動が行われていたため、相互連携による効率的な活動ができない例がみられた。今後は、現場に設置される合同指揮所において、情報共有や活動方針の徹底等の調整を図る必要がある。



街区検索救助救出訓練（北上市立花10地割内・街区）

(3) 後方支援活動訓練

北上総合運動公園において、支援車I型及び拠点機能形成車両等を活用したほか、運動公園付帯設備の照明等を有効に活用した後方支援活動訓練を実施した。

また、岩手県警察本部機動隊と東日本救助犬ユニオンが、同じ施設で野営訓練を実施したことにより、他機関の後方支援体制についても確認することができた。

《今後の課題等》

- 実際に広域防災拠点に指定されている施設を訓練会場として使用し、その有用性について検証することができたが、参集部隊の規模及び後方支援隊の状況等に応じた効果的な配置等について検証が必要である。



後方支援活動訓練（北上総合運動公園）

6. おわりに

今回の訓練は、統合機動部隊による迅速な災害対応、被災県消防本部指揮隊による現地合同指揮所の運営調整、既存の大規模施設及び居住街区を活用した訓練等、より実践的な訓練となるよう計画しました。

岩手県における緊急消防援助隊の受援体制及び関係機関との連携等における課題等が明らかとなり、実災害への対応に向けた大変有意義な訓練であったと考えます。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、緊急消防援助隊の応受援体制の更なる充実強化に努めてまいります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました北海道東北ブロック各道県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527 (直通)